THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻　第三十四號

每週金曜日發行

大正五年八月十八日發行
大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

定價一部四錢五厘　郵送料五厘

本號目次

□時事週評　都會人が田舎に蒔く風習……小橋三四子
□書棚の貧弱な日本の家庭……内田魯庵
□一人一評＝長谷川時雨
□エレンケーの自由離婚説……本間久雄
□名士と其の母＝巖谷小波氏……
□短歌「靜寂」……安中花子
□私の試みた日本アルプスの踏破……大橋繁子
□白衣の天使……
□ありのまゝ「△讀書に夢中になりて△シヤトルより」
□溫浴と冷浴……澤田斬雲
□野趣あふるゝ初秋の投入花……安達潮花
□今週の惣菜……櫻井ちか子
□夕顔の下涼み……廣田花崖
□オハナシ「猫と鼠」……たか子
□小說「孃ちやん」……阪東みちゑ
□寄書「女教員の增加に就て」……黑崎えつ子
□時事……編輯室より

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

リグレー式チウインガム

何れの御家庭に在ても、御子供衆はみな間食を好まれ、そして何れも、それを成たけ永く樂しまうと致します。然し、何ものもそう永くは續く筈が御座いませんから、勢ひドッサリ召上る事になり、そこで歯と胃を害します。

只だ**リグレー式チウインガム**のみは、一枚が無限に樂しめる上、永く噛めば噛む程、薄荷が歯の根に溜つた汚物の醱酵を止め、**ペプシネ**が胃を丈夫にし、且つ唾液の分泌を促がす結果、消化が良くなり、渇を覺えず、歯痛、口臭、胃弱等をスッカリ癒して了ひます。

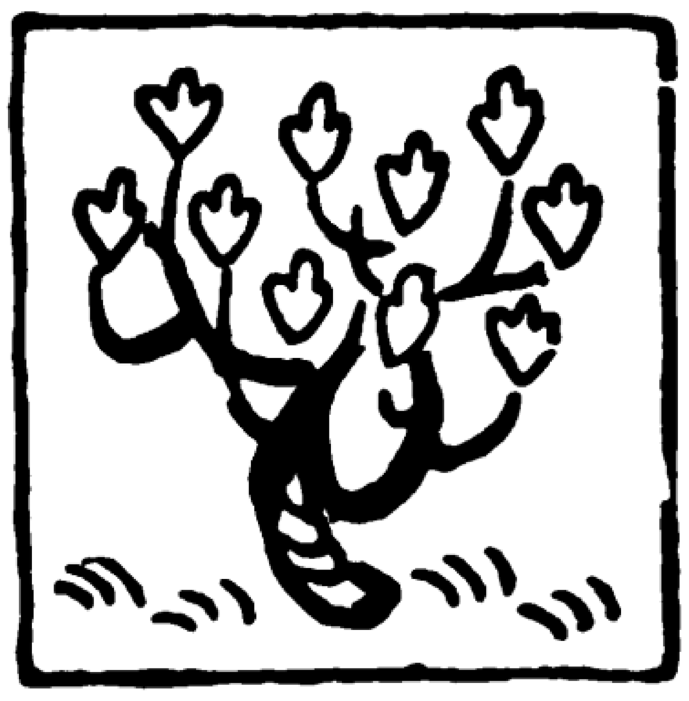
それ故、**チウインガム**を召上り過ぎて、體をコハすと云ふ事は、全く不可能であります。又、御子供衆は餘り歯の掃除に御頓着なさいませんが、**チウインガム**は無限のお樂しみとなる上、歯を清潔丈夫に致します。

□一包金十錢、菓子、煙草、薬店等にあり。

□御買求めの節説明の**チラシ**御請求を乞ふ。

發賣元
東京市銀座通新橋際
電話新橋三二六七番
リグレー株式會社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



都會の人が田舍に蒔く風俗

□故鄕のなつかしみ

過る四年間、夏はたゞへ幾日でも、御殿場在を訪づれる私にとつて、其の山川は故鄕のなつかしみを覺えて參りました。畑に鍬取る百姓達にも、大分顔馴染が出來て、挨拶の聲をかけつ、かけられつ過ぎ行くやうになりました。今年もまた二三日の小閑を竊んで、其の地を訪づれ、先づ清涼なる氣に迎へられて、西は富士東は箱根の連山迄、遮るものなき高原の輕い靑みに眼を放つて、一年振りに靜かな田舍道を恍惚と歩んで居りますと、四五人の田舍の女兒の群れが、はちすの垣根から現はれて參りました。

□田舍女兒等の歡迎

この女兒等は嬌態を作つて「先生、これを差上げませう」とはちすや野菊の束にしたものを差出しました。私が初めてこの土地に來た時は、誰れも辭義をする事を知らず、呼びかけても、羞かんでか、返事する者もなく、火のつきさうな髮の毛に素裸足で野くれ山くれ驅け巡ぐるさまは、男兒と云はず、女兒と云はず、さながら山猿のやうでありました。然るに今俄かに都の少女のしさうな精緻な所作をするので、驚くと同時に、はつと都の人が純朴の田舍に、如何なる風俗を蒔きつけて居るかを省みられて、恐ろしいやうな、申譯ないやうな氣が致されるのでした。

□お客商賣氣質

私共が田舍を愛するのは、最も其の純朴な點であります。都會の虚飾に厭きた眼には、田舍人が誰れに阿諛ふこともなく、土を耕して露と太陽の惠みの下に穀物、野菜を得て生活し、一つの辭義も言葉の端も、人の感情を害はぬやうにとの無用の心づかひを離れて、自然の草木のやうにのび〳〵と成長して行く事が、最も尊い點に思はれるのでした。假令人々が高い智識と複雜な人生を味ふにしても、この純朴な點に出立して、絶えず文明を批判して進みたいと希はれるのです。そして都會人が入つて未だ數年ならざるこの土地に、早くもお客商賣の氣質を與へ、子供等迄に人相手の輕佻な風を學ばしめたならば、誠に遺憾の極みであると覺ゆるのでした。

□太平に馴れた結果

近頃墨國戰亂の渦中にある日本婦人から、かういふ意味の手紙を受けました。「目下戰亂の渦中にありて、人々は難儀し、折角働きたる多少の資産も、何時皆無になるか解らぬといふやうな事は、之れもまた惠みです。人をして眞劍ならしめ、頼まれても絹の着物や袂の長い着物を着たり、小供に琴三味線踊りなど仕込まんと思はず、日本にて婦人の服裝問題の如き解り切つた事がごうもならぬは、太平に馴れて、婦人自身が裝飾物たるに甘んずるが故なり、あはれむべしと存じ候」と書いてありました。確かに都會の人は文明の恩惠に馴れて、安逸に陷つて居り

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ます。殊に婦人は、眞實な生活を遠ざかつて、寄食の生活に移つて行きます。偶々田舎を訪づれて、夫妻等しく畑に働らくさまを見て奇異の感に打たるゝ者が多うございます。

□眞の開化と病的の發達と

されぱとて田舎人の生活が決して理想的ではありません。然しまた、文明社會の生活を謳歌する事は、もとより出來ませぬ。少くともこれから赤にも黑にも染まらうとする單純な田舎人には、現代の所謂人眞似の文化に非ずして、人間の本性に應じて進み行く開化を與へたいものであります。そして都會から僅かに二ヶ月計り避暑に入り込む人々等が、田舎の良風の基礎を蠹毒して行くことがありとすれば、最も恐ろしい事であります。彼れ等に勞せずして、口先きで人の歡心を買ひ、安々と生活して行かうとするやうな忌はしい思想を與ふる事なく、神聖なる勞働の上に、智識を注入する方法を講じたいものであります。子も孫も同じ田畑に立ち、幾百年來同一の方法を繰り返して、なほ衣食に汲々として居る彼れ等百姓の生活は、一方から見れば、確かに哀れであります。其の作物も、耕作法も成るべく手數を省いて多くの收穫を得る方法をとるは、眞に健全なる進化であります。然し旅にある人々を幸ひ、鋤鍬を投じて其の財布の金を絞り取らうとするやうな氣風を與へる事は、表面は迅速に繁華に赴かうとも、病的の發達であります。少くとも智識を味ふ點に於て、一日の長ある都會人は、地方に出づるに當つて、其の土地の健全な發達を希ふ爲め幾分の用意を拂ひたいものであります。

（三四子）

時事週評

□東久邇宮殿下の御壯擧　殿下には十四日日本北アルプス中の盟主鎗ヶ岳に御登攀、更に白馬岳等を約十日間に御踏破あらせ給ふと承ります。我が皇族が國民に勇健の元氣を鼓舞し給はんとの思召を以て、冒險の御先鋒を爲し給ふをも辭し給はぬは、眞に感激して止まぬ所であります。

□女教員の增加　近時女教員が増加して、男教員の減少する傾向あるより、帝國教育會は特別委員を選定して、之れが研究をなし、半數を占むる迄は増加しても差支へないとの決議があつたさうであります。それにつき都下の中央で久しく國民教育に從事されて居つた一女史から、本誌に寄書もありますが、實際今日の女教員が時勢に迂遠であり、知識に乏しいと云つても、女子に小學教員を不適當とすれば他に適當の職業は更になく、いつ迄も社會に接する機を失つて終ひます。要は女子の頭腦を小學當時から、もつと開發的に導いて行き、女學校の教育をもつとしかりと行う事で、不適當といふを恐れて、之の職業を拒む事は、一層婦人の進歩を遲からしむるものであらうと思はれます。

□基督教主義の女子大學　曩きに京都に佛教主義の女子大學設立の計畫あり、此處にまた基督教主義の女子大學が近く設立されやうと云ふ事で、既に昨年頃より着々實行の運びに向ひ、追々歩を進めて居るさうであります。女學校程度の宗教學校等に於て、語學に力を入れ、頭腦教育に重きを置く學校の生徒が、めざましい發達を遂げて居るものを今一と押しの教育が足らない爲めに、卒業後忽ち後と戻りする者多きを見て、常に女子の最高の學府の必要を感じて居りますが、かく次第に其の機關の設けらるゝに至るは喜ばしい限であります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

書棚の貧弱な日本の家庭

桐の箪笥に金を投じても 智識の寶庫には至極冷淡

内田魯庵

記者は一夜内田氏を柏木の郊外のお宅にお訪ねして、折からの明月を眺めながら豐富な知識から溢れ出づるさまざまのお話を伺ひました。そのお話の中に、氏は現代の日本婦人に就いて如何に考へて居らるゝかを窺ふに足る次のやうな事がありました。

□百年前の英國婦人の讀書力

一體、今の日本の一般の婦人の讀物と云ふのは何樣書籍でせうか、先づ普通の主婦と云はれて居る人達を、女學校卒業程度の人と見做して、其の人達が家庭でどれ程讀書して居ませうか。今日も四五人で話した事ですが、今から百年餘り前英國で公立圖書館の建設に就て一問題が起つた、と申しますのは、其の圖書館の細則中に一冊の書籍を同時に二人の人で讀んではならぬ、と云ふ事があつた爲めだと申します。一寸考へれば何故これが問題になるだらうと思はれるが、英國では夫婦で一所に圖書館へ行つて、同じ書物を讀んで批評したり、意見を交換したりする事が澤山あるから、それを禁止したのでした。が然し、餘りに慘酷の規定であると云つて、八釜敷い問題となつたと云ふ事です。日本では今日此の規則を設けられてもとても問題にはなりますまい。是に依つて見ても、日本の女が西洋婦人に比して、どの位ゐ程度が低いかと云ふ事が想像されませう。

また自分が讀書しないばかりか、男子の讀むの迄も喜ばないで書物を買ふのを見ては、「又本なんぞ買つて來て」と、不要品扱ひにして居る婦人が未だに多いのを見ては、歎息せずには居られません。

□高々六疊か四疊半の書齋

と云つて日本の男子が讀書家だとは云はれません。一般の男子も亦左程に讀書の必要に逼まられては居ないらしい。裏長屋で汚穢しい生活を送つて居る人達も、桐の箪笥は必要と見えて立派に並べてあるが、紳士の家で本箱の無いのは珍らしくはありません。數年前、某新聞に毎日中流以上の家屋の圖を掲載し、近くは報知新聞で懸賞で募集した建築實例集には、老人、小兒の室など、隨分細かい處迄に注意された圖が澤山ありますが、書齋があるのは少い、適々あれば客間と兼用か、獨立して居れば、四疊半か廣くて六疊。是に入る書籍の量は極めて少數のものです。四疊半の書齋の一方の壁を全部書棚に當てゝも高々三百冊位の書物しか置く事は出來ません。これを西洋の建築で見れば、避暑屋を除いて普通の住宅ならば必らず狹くても十五疊位の圖書室のない家はありません。而して是は一家共有のものになつて居て、一日一回一同がこゝに會してお菓子等を頂きながら、新聞雜誌や本等を見て色々な話をするやうになつて居りますから、自然に書物に接近して行く樣になります。

□一枚の地圖を開いても

私ら若い時分には、自分の家を學校同樣にして、聞く毎々に地圖や博物圖の掛圖を掛けたり、參考品を並べたりして、何時でも其れが見られる樣にして置き度いと思つたが、中々實行する迄には參りませんでした。然し斯うして置けば識らず知らず色々な知識を廣める事が出來るのですが、一般に日本の家庭はそんな事には無頓着です。

三 それ故雜誌か新聞以外に知識を餘りに

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

他に求めない婦人は、女學校時代に修めた地理さへも明確に答へられなくなつて終ひます。一枚の地圖を開いて、歐洲戰亂の巷となつて居る處の地名を、直ちに指摘する事が出來るでせうか、又今登山流行で日本アルプス等の記事が、毎日の新聞を埋めて居ますが、アルプス山は歐洲の何處にあるか、一目して此處と示し得る人が幾人ありませう。近頃伯林から君府に鐵道が直通したと云ふが、この間を獨逸に切斷されずに進むには何處を通るのが最もいゝかと云ふ事を答へ得る人が果してどれだけありませう。單に地圖上に表はれた事でさへ斯の如くですから餘は推して知るべしです。

□及ばざる事遠しといふ感

婦人論者と謂ふ一部の人は、元來女は偉いものだ、其の證據には今日でも女の酋長を戴いて居る野蠻國もある、動物昆虫等を見ても雌の方が權利があると主張するが、亞弗利加內地の一部に女酋長の國が有つたからとて、一概に昔は婦人の權利が強かつたとは云はれない。歷史を見るに男が女の附隨者となつた事は紀元前一萬年位溯つた處迄には無さうです。役者にせよ音樂家にせよ或は藝術家にせよ、婦人の賞讚は男子がつけた人氣に過ぎません。必らずしも男子より一頭地を拔いたと云ふ事ではないのです。婦人の仕事とされて居る裁縫や料理でさへも立派のものは凡て男子によつて造られ居るのです。斯う數へ來れば及ばざる事遠しと云ふ感に堪へません。

四

(一人一評)

長谷川時雨

△長谷川時雨さん！と斯う小さい聲で呼んで見ると、もう隨分古い時代の人のやうな響きもすれば、たつた此の間籔り出した許りの人のやうな氣もする。けれどその名が種々な雜誌の中に織り込まれるに至つたのは可成り古いことらしい。海潮音といふ三幕物だつたかの劇曲が、讀賣新聞の懸賞募集に當選し、更らに夫れが當時の人氣役者喜多村緑郎一派の手によつて演じられるに及び、その名聲は頓に揚つた。人々は俄かに女流作家、閨秀劇作家と稱揚することを惜しまなかつた。兎に角、女史は女としては一端の劇曲作家と呼ばれるやうになつた。

△世間ではよく、あら、あの人はまだ生きて居ますか、と、宛然生きてゐること夫れ自身が恐ろしく奇蹟でゝもあるかのやうに斯う皮肉られる類の人が少くない。道學者に、政治家に、軍人に……。慘めなことだ。分けて盛りの短かい文學者仲間に殊に多い。此樣な人の中に交つて、時雨さんは依然として時雨さんが昔得られたその位置を保つてゐられる。小說に筆を染める女はあつても、時雨さんの後にも、時雨さんの先きにも、時雨さんに續いて劇曲に向はうする人は未だ一人も現はれて來ない。女の劇作者界では唯一人の人であらねばならぬ。そして世間にその名を知られてからもう十年からの月日が流れてゐる。

△時雨さんには色々の作品がある。劇評も可成りある。が、其の他にこの人から忘れてならないものは藤間勘十郎の門弟の菊五郎などと芝の紅葉館で初められた舞踊研究會であらう。直ちに夫れが之れだけの結果を擧げたとは言ひ難いけれど。今は風清き鶴見の濱に花香苑を開き、お母樣の參謀となつて手腕を振つてゐられる。そのお留守の所へ伺ふと、美しい、可愛らしい手帖に鉛筆を添へて、「どうぞ之れに御用向きと御姓名とを……」と言つて女中が差し出す。僅かな所にも美しい感情の閃きが見えて嬉しい。

△終りに女史の本名は康子、明治十二年の九月に日本橋の眞中で生れた生粋の江戸兒である。お父樣は代言と言つた頃の辯護士で、その門下には嘖々たる人が澤山出てゐる。（K子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

エレンケーの

自由離婚說

三たび女史を知るに就て

本間久雄

□嚴格なる一夫一婦制

この前述べましたエレンケーの戀愛觀から、直ちに思ひ起されるのは女史の自由離婚論であります。この前にも述べました通り、女史の戀愛觀の屈竟境は嚴格なる一夫一婦制でありますから、自由離婚と言ふことを今更ら掲げ出すと、女史の說が全く矛盾するやうに思はれないでもありません。しかし實際は說そのものが決して矛盾してゐるのではなく、女史が例の親切な老婆心から、若しも一夫一婦といふ理想が實現されない場合には如何したら宜いかと言ふ實際問題にぶつかつて、その場合には自由に離婚して更らに新たな戀愛生活に這入るのが寧ろ道德である、と言ふことを主唱し、力說したのであります。で、此の意味から女史の自由離婚論は、その實際問題に對する女史の戀愛の解決乃至主唱と見ても差支へない譯であります。

□性を重要視す

要するに、女史は飽くまでも人類が無限に進化すると言ふ、その進化の可能を信じてゐる人であります。そして、この進化に對する信仰から、『性』と言ふことを重要視し、そして此の『性』と言ふことをすべてに結びつけて戀愛の重要義を高調してゐるのでありますから、女史にとつては、すべての問題が『性』と言ふ一點に歸結されて了ふ譯であります。

□性に對する一大冒瀆

斯うした立脚地から人の生活を眺める時は、徒らに在來の因習道德に囚はれて戀愛のない結婚生活を敢へてしたり、又一時戀愛があつて結婚しても、その戀愛が理想的にいかないで、中途で中絕して全く無戀愛の索寞なる結婚生活と變つたりなどした場合に、夫れでもなほ、然う言ふ生活を續けてゆくことは人生の重大義である『性』に對する一大冒瀆でなければならぬ。從つて斯かる場合には、男女相互が充分に談合して奇麗にその夫婦關係を斷ち、夫れ〲新たな結婚中心の生活に這入る方が一層『性』そのものを尊重する所以であり、且つ、人生そのものに對して一層忠實である所以である、と斯うケー女史は考へてゐるのであります。

□輕薄な離婚論者に非ず

しかし此處に誤解のないやうに一言して置きたいことは、女史の自由離婚と言ふことは非常に眞面目な意味が含まれてゐるのであつて、決して朝に結婚して夕に離婚すると言ふやうな輕薄な結婚乃至離婚を指してゐるのではありません。之れはこの前述べた女史の自由戀愛と言ふことの眞面目さと同樣であります。しかし世間の人達は時にケー女史のこの自由離婚の議論の樣式だけを早や呑み込みして、女史を以て輕薄の離婚論の主唱者であるかのやうに考へてゐることのあるのは、極めて大きな間違ひであります。

兎にも角にも、女史の自由離婚論は、女史の理想的戀愛觀をうらづけることによつて、且つ今一歩をすゝめて女史の理想的『性倫理』の主唱をうらづけることによつて、はじめて正當に理解さるべきものであります。之れを吾々の實際の結婚生活の多くに聯關して考へる時は、女史のこの自由離婚論が如何に主義のある主唱であるか思ひ半ばに至るでせう。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名士と其の母（十九）

巖谷小波氏

□十五て初めて繼母と知る

私の母は繼母です。けれども世間によくあるやうな、而して御伽噺などに綴られて居るやうな母ではありませんでした。私の實母は私を生むと間も無く亡くなつて、私は里子に出されました。ですから現在の母には四五歲の頃から育てられたのですが、母は私を非常に愛して、決して世間で所謂繼子扱ひにするやうな事はありませんでした。其の位でしたから、私は十五になる迄此の母が眞實の母で無いと云ふ事を知りませんでした。

□私を優遇してくれた

私には兄姉が五人、弟妹が四人ありましたが、私が可成り生長した時分には、兄姉はそれ〴〵獨立して家には居りませんでした。殘つて居るものは、皆年少の弟妹達ばかりでしたから、私は餓鬼大將になつてよく遊びました。時には兄弟喧嘩もやりましたが、然云ふ時に母は何時でも弟妹を叱つて、一度も私に小言を云つた事はありませんでした。こんな風で何樣時でも母は私を優遇して呉れましたから、新聞等で繼子虐めの記事などを見てもそんな事が有り得やうかと、とても信ずることが出來ません。

□只一度叱られた經驗

斯うして四五歲の頃から廿七八歲で別家する迄、母と一所に居りましたが、特別の事はありませんでした。唯一度叱られたのは、學校へ行かずに招魂社の競馬を見て宅へ歸つた日が幾日も續いた時と子供が買つてはならないと云はれたものを、どうしても買つて見たくて、默つてお金を持ち出したのが知れた時に、母は私を別室に呼んで、淚をもつて眞心から戒めました。此の時は私も熟々心から濟まない事をしたと思ひました。そして、子供に口八釜敷しい小言を云ふよりも、斯云ふ優しい小言の方が幾倍効果が多いか知れないと云ふことを經驗しました。

□今も尚健在

私は母を恐いとは思ひませんでした。寧ろ兄達の方が私にとつては恐い人でした。母は常に其の間を調停して私と兄達の中の圓滿であるやうにと計つて呉れました。犧牲的の念が強くて、常に人の爲めに己を棄てる事を惜しまない、どこまでも東洋風の女です。今は六十五六歲になりますが、至極壯健で、家の相續をして居る弟の家に居りますが、一方ならない母の慈しみの幾分をでも、御恩返ししたいと何時も考へて居ります。

靜寂

安中花子

一年はかなしかりけり群衆のよしなし言の中にたゞよひ。（一年振りにて對しゝ山々に。）

何ものか我に潛める貴さに思ひ至りし夜半の星かげ。

悲しかる身の果なども寫るやと秋風の窓にかゞみいだきぬ。

我が胸のおもひでの野に美しき種子蒔きて行く人よゆふべよ。

秋されば靜かに思ふ人の世に我も生れし其の不可思議を。（御殿場にて八月十二日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私の試みた日本アルプスへの攀登

大橋繁子

日本アルプスといふ語は、十年前迄は地理書は勿論、陸地測量部の地圖にさへ記されてなかつた北越の秘密境であります。委しくこれを調らべて見ると、長野、岐阜、富山、山梨の四縣に跨つて居る高原地帶で、近頃は之れを南北に分つて呼んで居ります。北アルプスは飛驒山脈の方で、乘鞍岳、硫黄岳、槍岳、穗高山等は其の中心になりて居り、それより北に立山、針木峠、白馬岳、大蓮華山、釋師岳等があり、南は木曾山脈で御嶽がその鎭めを爲して居ります。南アルプスは赤石山脈をさし、四時雪を戴いて居る白峰山はその中心を爲し、北に駒岳、南に赤石山が聳えて居ります。之れ等南北の連山は何れも海拔一萬尺内外で、萬年雪に覆はれ、古くは天狗の外は住まぬと云はれて、攀登者は極めて稀れでありました。近頃冒險旅行を試むる人々が尠くはありませんが、婦人としてはウエストン夫人其の他二三の女教師があつたのみで樵夫の女房等も稀れに攀づるのみださうです。横濱在住の大橋辯護士夫人繁子さんは、前號の消息の通り、本月初旬眞人外二名の男子の方々と共に北アルプス中の白馬岳に登山を試みられ、山上に天幕を張り露營二夜して、杓子、鑓ケ嶽等の縦走を試みられました。これは其の壯擧を窺ふ一端です。

□私の扮裝

私達一行は二日の七時半頃四ッ家を出發しました。女の私はどういふ服裝をして行つてよいか見當がつきません。然し生容易しい事ではいけないと云ふので、初め下着にと携へました西洋婦人の股引を浴衣の上から穿き、脚はゲートルと甲掛、草鞋に固め、帽子は海水帽を被りましたが、萬一霧が深いといけないと云ふので護謨引の海水帽を其下に被りました。この面白い風を下界への土産にと寫眞に撮る積りでしたが、生憎カメラの工合が惡くて撮れなかつたのは遺憾でした。

□氷のやうな水の徒渉

裾野の一里位の間は、富士山麓のやうに秋草が咲き亂れて居ります。こゝを過ると四邊の光景は一變して、濶葉樹の大枝が覆ひ重つて居ます。そして白馬尻に行く迄には、大雪溪から流れ落ちて來る氷のやうな流れを三度計り渉るのでした。流石に人夫達は私の徒渉を氣遣つて手を執つて扶けてくれるのでした。其の水の冷めたい事と云つたら、骨の心まで痲痺れはしまいかと思はれました。これから愈々有名なかの大雪溪を登るのです。何百年何千年と傜うした儘積つて居る萬年雪は、急な勾配を作つて、蜿々と頂の方へ匐ひ上つて居ます。其の偉大と壯麗には、只胸を打たるゝのみです。

□大雪溪を渉る

此の雪溪は凡そ三十丁あると申しますが、濃霧で一寸先きは闇のやうに閉ざして居ります。登山杖を突立てゝ、一足拔きに上つて行つても、稍ともすれば辷り轉びます。この苦しい中にも、深山鶯は美しい音に囀つて居るのです。この大雪溪を登り切つて驚いた事は、足の下に罅隙が大きな口を開いて、幾尋の谷底には、雪解の水が暗い光を漂はして流れて居る事でありました。

□れ花畑の美觀

この難關を通り過ぐると、更らに九十九折の嶮しい所に出ました。右にも左に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

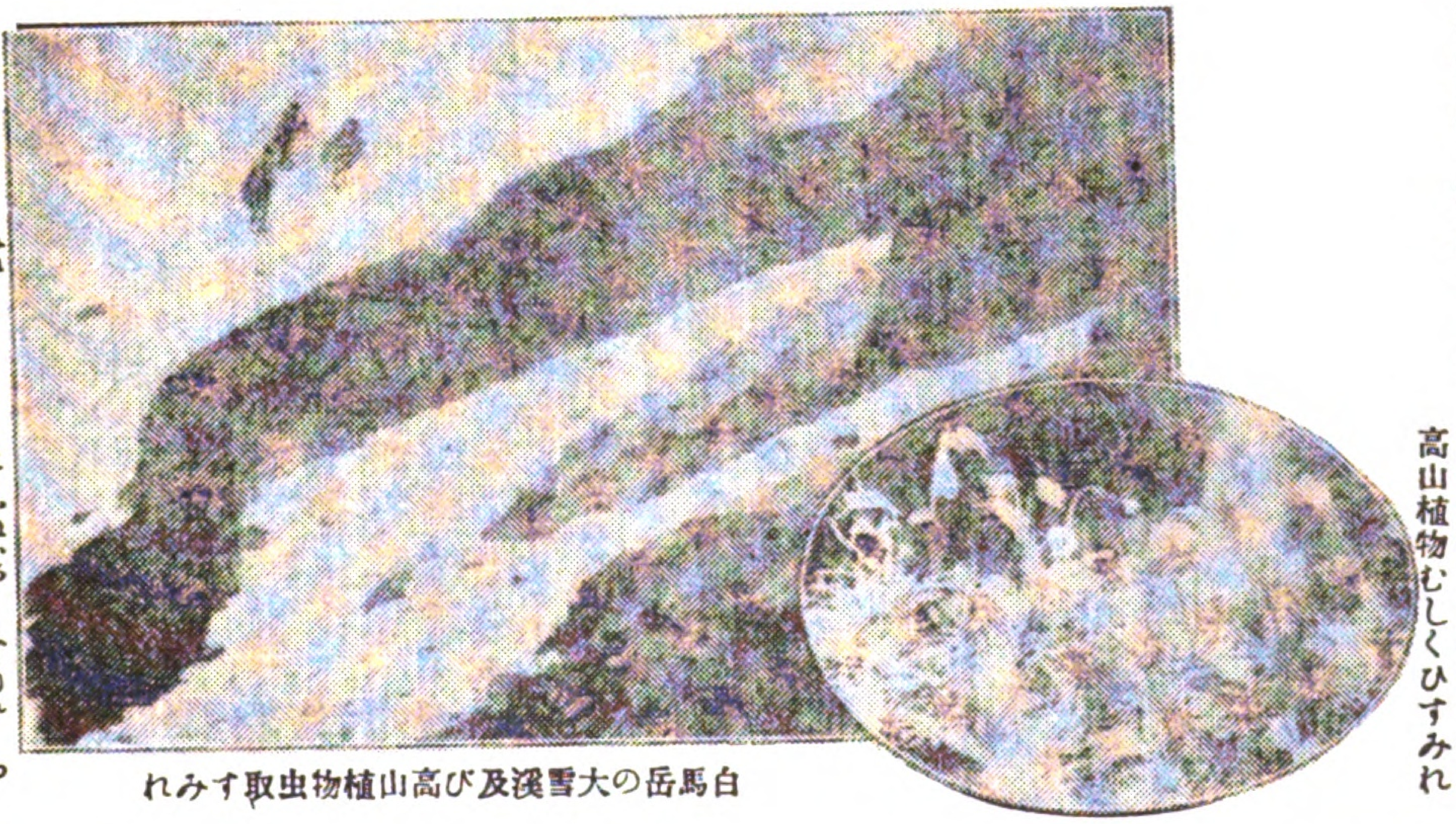
も黄、紫、白や赤等の名も知らぬ高山植物が、咲き亂れて、俗に云ふお花畑を作つて居ります。其の美はしき氣高ささながら天上の樂園にあるやうな心地に、惚乎となりました。私達は此處から暫らく行つた葱平に一夜を明さうと云ふ事になり、岩壁に浴ふて天幕を張り、一行八人が登山第一の夢を結ぶのでした。

□可憐な雷鳥

翌朝は杓子から鑓ケ嶽へと志して、早く出立致しました。道の悪い事はお話になりません。岩や石片がゴロ〳〵轉つて居るかと思ふと風雪に虐げられた偃松が其處此處に網を張つて居ります、時々可憐な雷鳥がヒヨロ〳〵と偃松の間から出て參ります。面白がつて追ひ廻すと、いつか人の行かれぬ偃松の間に隠れて終ひます。杓子ケ岳は昔は天狗より外に上つた事が無いと云はれて居りますが、其の形が杓子を立てたやうに頂上から中腹にかけて抉られたやうになつて居ります。鑓ケ嶽で高山植物の採集を試み、胴藍の中は氣高い美しい花で一ぱいになりました。

□北アルプスの壯觀

白馬の頂上に達した時には、眼界が烟つて、全く何も見えませんでしたが、私達は人夫が夕餉の仕度を濟す迄、天幕の外に話し合つて居ります間に、煙つた灰色の布は剝がれて了つて、美しい夕暉が雲の間に浮びました。前の方に横つてるアルプスの峰々には、黄金色の覆輪を着けた雲が漂つて、山々の頂きは赤く黄色く、今にも燃え出しさうに輝いて居ります。私達は餘りの美しさ崇嚴さに無言の儘立盡して居ました。そして夕日が全く沈まうとする時、遥の空には立山や槍ケ嶽などの北アルプスの盟主が淡い紺靛色の線を空に流して、夢の様に浮き、夕月の光は冷めたく私達の上に灑ぎました。高山頂の寒さは、犇々と身に沁みます。



高山植物むしくひすみれ

白馬岳の大雪渓及び高山植物虫取すみれ

□高山の深夜

其の晩は第一日目の晩と同じやうに狹い天幕の中に桐油を敷き、其の上に呉座を拡げて寢たのでしたが、寒いので、夜中熾に焚火をして居なければなりませんでした。夜中に目を覺すと、風の爲めに天幕が搖れて、氣味の悪い音を立てゝ鳴ります。寒暖計を見ると四十度ばかりでした。翌朝は三時頃に起きまして、更らに八丁ばかりの頂上に向ひ、朝日に輝くアルプスの大觀を眺めながら、讃美し、祈禱するのでした。三日にかけて辛苦して登つた山も降りるのは一氣呵成でありまして、一行は其の日の午後五時無事四ツ家に歸着致しました。かくして幾多の思ひ出を殘して、この行の終りを告げました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

白衣の天使（二）

病者の心を同じく知る孃の看護は上なき慰安

□美しい歌ひ手

とも子孃は信仰の厚いお父様と、慈愛に充ちたお母様との間で、幼ない日を、限りなく幸福に、夢のやうに過してゐられるうちに、月日は澱みなく流れていきました。天禀の美貌は、生れながらに父母から受けられた信仰の清き光りで、幼稚園を卒へ、小學校から青山女學院へ行かれるやうになつて愈々美しく輝いて、その周圍のすべてのものゝ上に和らぎを齎らすに至りました。そのうへ、無邪氣で、快活で、そして謙遜なので、教師からも、友人からも、さながら、平和のみ使ひの化身でゝも、あるかのやうに、愛されつ、慕はれつして、ゐられました。孃の得意は獨唱とオルガンとピアノであつて、久しく校中の花と歌はれてゐましたが、その美しい歌聲と音律とは卒業されると同時に校庭から消え失せ、冬枯れの荒野を思はすやうに後は寂しくなりました。けれど一週毎の日曜日には、必ず教會の窓から、何時もかはらず、その豐かな清らかな聲がもれ聞えるのでした。

□突如不幸に襲はる

かうして孃は不幸と言ふものが人の上にあることも知らないかのやうにして大きくなり、花恥らふ處女の歡びを恣に歌つてゐられましたが、慘酷な運命の神は長くこの可憐な乙女の幸福な甘い夢を續けることを許しませんでした。思ひがけなく、全く突如として、非常な不幸がこの一家を見舞ひました。夫れは孃の愛するお父様である庸一氏が招かれて昇天されたことから初まります。地に於ける務めを終へたので、天の和らぎを與へんとして父なる神がお招き遊ばすのであるから、本來から言へば悲しむことなく寧ろ感謝すべき筈なのでありませうけれど、また互に互の慰めは、神を通して魂と魂との間を常に行き交ひするものであらうから一時はよし肉體は消え失せても、何等差し支へはない筈なのでありますけれども、愚痴つぽく生れついた人間の淺間しさ、顯にその人の聲を聞き、その人の面影に接し得ぬのは、矢張り深い悲しみであらねばなりません。殊にその人の愛を一身にうけてゐられた孃のお心はどんなであつたでせう。わけても物に驚き易く感じ易い青春の日、よし信仰は厚いとは言へ、暗く、寂しく、沈みいつたことだらうと察しられます。

□我が病ひから得た悟り

恰どその頃からでありました。フトしたことから孃は風邪に罹られ、幾日しても重るのみで、快くなりさうにも見えませんでした。百年もと誓つた良人に先立たれて胸の傷手のまだ新たな母君は、唯荀且の病ひであつても、もう御心は決して安らかで居られません。夫れから夫れへと凶い方にのみ想像を走らせ、果てはあらぬ所に思ひ及んで獨り身慄ひなさる

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のでした。尤も元來蒲柳の性でもありましたので高田畊安氏の診察を乞ひ、手を盡すに上はないと言つて茅ケ崎に轉地し南湖院に外來患者として通はれる事となりました。あの風の清い、松の青い茅ケ崎の濱邊で送られた數ケ月は、孃の心の上に一大轉換の機會を與へ、その全快すると同時に、看護婦となつて病者の友となられたのであります。或人は『生れながらにして全く健康である人には病人の寂しい、苦しいあのもだ／＼しい心を汲むことは六ケ敷しい。』と言つて居りますが、或はその途は充分に心得てゐても、感情が夫れに伴はない所から病者を滿足させることが足らないかも知れません。とも子孃のごときは、自ら病み、自らその心を味はれたのでありますから、尙夫れが單なる義務からでなく、自ら進んで不幸な人の友となられたのでありますから、眞心から湧き出る同情の念は美しく周圍を照らすでせう。クリスト教に反感を抱く佛教徒でも孃には衷心から服すると聞いて居ります。熱血の燃えるやうな青春の思ひもあつたでせうに、淸く白衣に身を包んで、ひたすらに病者の友となつてゐられる孃の上を思ふと、自ら崇高の念にうたれずにはゐられません。今も朗らかな歌聲は病者の心を慰めてゐますが、世の不幸な人の爲にも愈々健在なれ。孃の母君は亡き良人の志をついで、愛兒の教育のかたはら、女傳道者となつて、良人が殘していつた事業を完成させねば、と孤獨の寂しさも忘れて努力なすつてゐます。全く美しい家庭！　この家庭にも幸福の豐かならむことを。（民子）

ありのまゝ

皆樣の生活のありのまゝを二十行内外に御寄せ下さい

口讀書に夢中になつた間に

貴誌毎號の御說、誠に痛切にていつも／＼感心致すの外なく候。過る金曜御誌を手にして、餘り夢中に讀みては考へ、考へては讀み居り候處、かやうの事御座候まゝ、お笑草迄に書きつけ申候。上の子二人は夏期學校に參り候が、下の二人は朝五時半起床、日課を濟ませ、昆虫採集に參り、七時頃朝食をすませ候樣に相成り居候が、今朝は主人の都合にて、子供丈け一寸先に食事を致させ候まゝ、私共の食事すみてそれ／＼讀書に入り候頃、「今朝のお食後は」と申して參り候。お食後とは果物やお菓子の異名に候。「何か上げませう」と申しながら、心は讀書にありし爲、一寸立ち得ざりしものと見え、子供自身に「昨夕いただいた桃があつてよ」とて、頂戴致す桃の荷を持ち參りしは承知いたし居候が、別にそれにつきては何も問ひも答へもせぬ積りにて居りしが、やがて主人が新聞より目をはなし「おやいゝものを食べて居るのね」と申し候處「パパにも一番よいのをお初に上げましたのよ。こんなによく皮がむけてよ」と。成る程、お盆に皮のちぎれとナイフがあり、お皿にはむきたての桃が載せてあり、子供等の手からは汁がたれて居りました。主人が「どなたが召上れとお仰つたの」と申しますと「マヽが今食べてもよいとお仰つたので す」と申します。「ではマヽのは」と主人が申しますと、「箱の中に澤山あります」とさも氣の毒さうに答へを申しましたので、朝から汗一ぱいになつて大笑ひ致しました。子供の何か申す時には、いつも精一ぱい聞いてやる積りなるに、思はぬ時にかゝる失敗を致すものと、熟々後にて省み申候。（北京　田中芳子）

▲母樣の賢い御用意をいつかな攻め落すお子樣方の所作の愛らしさ咎めもならず候。（記者）

口シヤトルより

當地は暮しいゝ處でございます。四五月頃から十月迄、涼しい夏が續いて、十一月から初めて冬になるんださうです。薄いドレスを二組三組持つて居れば、大抵不自由なく暮して行けます。それに果物、苺やキャンタロープ、トメトの類は安くて手に入ります。毎日舌の荒れるほど果物ばかり頂いて居つても、そんなに不經濟にはならないのです。ですから私はいつもマーケットに行つては、苺を買ひ込んで來ます。內地はさぞお暑い事でせう。（片山操）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

温浴と冷浴

夏は温浴は不適當

薄田斬雲

口夏は冷浴に限る

私は今青森灣頭の淺虫温泉場へ來ました。海に瀕した温泉場で後に山を負ひ、前に海を控へた大變涼しい處です。

温泉へ入つたり海へ入つたり、冷熱交々往來で、身體が調子外になりそうです。

私一個の經驗から云ふと、夏の熱い時は冷浴—海水浴が大變具合が好いのです。此處の温泉場へ來て一日に四五回も温浴をしたら身體がだるくなつて、心臟が苦しくなつて、手足がほてつて半病人の體です。温泉は人體に効能もありませうが直接の自覺で云ふと、身體を疲勞させる事夥だしいので、海水浴よりも心臟を弱らす様です。私は胃が惡い爲めかして毎食後强度の發熱が來るらしいので、其際湯へ入ると、一層身體がほてつて、いやな氣持になりますし、反對に食後海水に浸ると、惡熱が去つて氣が清々して、胃の働きも活潑になる様です。

口虚弱者に水治療法

世俗には、胃は温めるもの、決して冷すべきものでないと云ふ様に、考へられて居ますが、併し、私の經驗によれば、胃が充血して胃熱がある時には冷やすと好い氣持になります。唯だ腸丈けは温めた方が氣持が好い様です。文覺上人那智の瀧の荒修行など云ふのも、冷浴で以て心身を鍛へたものと思ひます。近時腦病や神經衰弱に水療法が賞用される様ですが何方かと言へば冷浴法は偉効あるらしいのです。特異な病體に在つては絶對に冷浴を忌むものもありませうが、何處が惡いと云ふのでもなく唯だ虚弱な身體は冷浴に依つて壯健になる例もあると言ひます。

口頭部も濡らせ

下痢する時には、冷浴は確かに惡いのです。そんな場合には海岸の熱い砂の中に半身を埋めて居ると能く温まつて具合が好い様ですし、夫れから水へ入つても湯へ入つても、頭部を濡さない事は大變惡い結果を來すと言ひます。私の郷里即ち弘前邊の人は、温泉へ行くと何れも小桶で以て頭から湯を浴びます。私も少時から其の習慣があるので、東京の様に、入浴しても頭丈けは濡らさぬ事は甚だ不快です。私は海へ入つても大抵頭からすつぽり潜るのです。然うすると、眩暈がしたり、頭痛したりする事が少ない様です。一番具合好いのは荒浪に打たれて、すつかり寒くなつた身體を深い熱沙の中に埋める事です。急速に冷して急速に熱めるので、新陳代謝が激しいから大變好い氣持です。併し然うすると、身體が却て痩せると言ひます。一旦痩ても後で營養佳良になり能く肥滿すると言ひます。

口熱湯の長浴りは毒

結論としては、慢性の胃病、即ち溜飲や腦病、神經衰弱などは冷浴が好いと思ひます。心臟病は冷熱共に危險で、生温い湯へ入るか、温るんだ川水へ入る位が好いでせう。りようまちの人は鹽浴に限る様ですが、私の知つた人で、りようまちの爲めに十數年熱い湯へ毎日入浴し而かも大變長湯であつたのが、一朝中風に罹りました、そして内臟に何の故障もない割りに全身不隨で且つ痛みます。其の様子は普通の中風患者と些と異つて見えるので、私は平生余り熱い湯へ長浴りした結果、血管が弱くなり、さして老齢でもないのに重い中風に罹つたものではないかと思ひます。熱い湯で血管を膨張させる事も惡いでせう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

野趣あふるゝ

初秋の投入花（二）

安達潮花

□野草を容易く留める方法

投入の花器には挿口の廣いものと狭いものとが御座います。秋草を挿す場合に挿口の狭い器は、挿した形が固つて了つたやうに見え勝ちで、ゆつたりとした感じが少なく、挿口の廣い器は花莖の足場が立ちにくい、形も横に廣くなるか、さもなくば上に上にと重なるもので御座います。

莖や幹に曲折の多い洒木ものと違ひ、筋ものは至つて留めにくいものですが、これを留める方法は、（一）花器の挿口の中へ内オトシを作る事、（二）挿口へ一文字、十文字、井筒、三本四本位の十文字などの花配を入れる、材料は有合はせの木、莖、竹等、（三）以上は何人も心づき又花器材料の方面に限るけれども、秋草を最たやすくゆるやかに留めるには、可成的枝葉の散大した草を中央もしくは前後に挿して、これと他の細い莖で固りやすい草をもたせかけて挿す事です。これはなんでもない事のやうで、事實大變の効果のある方法で御座います。

□秋草の交ぜ挿しの良否

投入でも盛花でも飛び〳〵に別の種類の花が見えるやうに挿す事は、『緣』が切れると云つて非常にきらひます。同一形式の各處に同一の花卉を見るやうに挿しても、必ず『緣』の切れないやうに巧妙に連絡しなければ不自然で御座いますが、秋草の中では却つて『緣』の切れた方が面白いものが多いのです。例へば石竹、女郎花などは、一ケ所に固まつて挿してあるよりも、飛び〳〵にちらり〳〵と見えた方が自然に思はれて、秋の野草の情趣が一層深く味はれます。飛び〳〵に交ぜ挿しする花卉は、かやうなものに限つて良いだけで、外のものは甚だ面白く御

水の良否

海水浴、溫泉場にての心得として立敎女學校敎諭村松氏が山でも海でも異つた土地に參りますと水が惡くて困る事がございます。例へば硬水で石鹸が溶けなかつたり、顏が荒れたりします。斯云ふ時には一度沸騰させて用ひますとよろしいのです、と云はれた記事が前號に掲載されて居ります。炎熱灼くが如き今の季節であるから海に山に避暑せらるゝ際には以上の事柄に就いて大いに戒心しなければならぬ事と思ひます。實際使ひ馴れぬ水などで洗面を致しますとお顏の肌を荒らしたりする事が往々ありますが一々面倒な水の試驗をしてから洗面をいたすなどは到底手數の繁に堪へぬのであります。夫れには石鹸よりも慥かに優等で絶對に肌膚の荒れぬ理想の美身料日本名物のクラブ洗粉をお使ひになれば水に溶解せぬ事もな

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

座いませんから、誤解のないやうに申上ておきます。

□野草の形式の種類

花野に咲き競ふ千草の中には、莖や葉の生長の方向が直立莖、半傾斜莖、傾斜匍匐下垂莖などあらゆる方向の形式が御座います。線に於ても直線的なもの、曲線的なものもあり、密生するものなど一々擧げ切れませんから、挿す人はこの特殊の形式について鋭く、細かく、確實な觀察をする事が第一で御座います。

□花卉の個性美を發揮せよ

秋草を挿しても天賦の形態美をこはして、美しい別の形に直しても、投入にして更に無價値のものとなります。例へば女郎花は直立莖もしくは半傾斜莖のもので、直線的な形ですが、これを舊生花のやうに曲線的に曲げて、傾けて挿せば、甚だしく自然美を損はれて女郎花の本領は全くなくなつてしまひます。投入では殊に個性特有美を充分に挿し顯はす事が必要で御座います。(つゞく)

今週の惣菜

櫻井ちか子

□湯葉のうま煮　湯葉を濡れ布巾に包んで置くと軟かくなりますから、それを醬油と水と半々位にして砂糖を加へ、甘鹹く煮附けるのです。汁氣がなくなる前に火から下し、急に煽いで冷ますと照が出ますのです。

□白瀧の卵和へ　白瀧を適宜に切つて、から炒をして水氣を去り、醬油と極少量の砂糖とでからりと煮ます。別に卵に鹽と砂糖を少し加へて、成る可く細かに炒りつけ、白瀧を皿に盛つて其の上から掛けるのです。

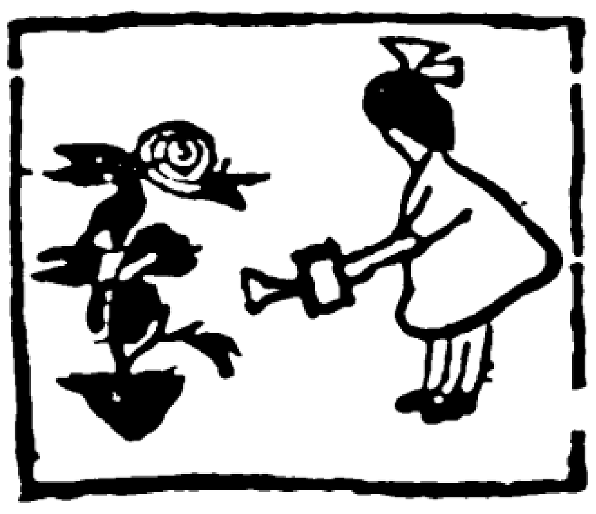
□鹿尾菜の佃煮　鹿尾菜を水に浸けて軟かくなつたらば、笊に揚げて水を切つて置きます。別に鍋に油を煮立て、其の中でよく炒つた後、醬油でからりと煮附けます。

□鐵火味噌　胡麻油を少し煮立て薄い輪切にした午蒡と、細かに刻んだ唐辛子と、よく擂つた味噌とを入れて、掻き交ぜながら炒つてから砂糖を加へて味をつけます。

□伽羅蕗　なるべく太い蕗を選び皮の儘一寸位に切り、よく洗つて笊に上げて一日位置きます。次に蕗百本に付醬油一升の割合で煮るのですが、一度煮え上ると蕗の汁が出來ますから、その汁が殆ど煮詰る迄注意して煮るのです。好みによつて唐辛子を少し加へるのも宜しい、長く置きますには時々煮直して置くのです。

く又洗つた後の心地がよく、皮膚の汚れをよく洗ひ落してスベ〳〵と滑らかになし、生れ代つた樣にお顏の色艶が非常に美しくなります。粗惡な石鹸に含有さるゝ遊離亞兒加里や澱粉などの如き皮膚の角質を荒うし、脂肪層を腐蝕さする人體に頗る有害な成分などは些しも含まれて居りませんから如何に弱き皮膚でもこれを損ずる憂なきのみならず皮膚を保護し自然の生々した美しさにいたします。尙暑中には汗止めとして日本に二つと無い絶品クラブ天花粉を御持ちにならねばなりません、クラブ洗粉にて洗ひたる後クラブ天花粉を輕く打つて置きますと汗疹や日焼けを防ぎ快き薫りが馥郁として三伏の暑猶一味の涼氣が生じて參ります。此外附けて高尙で洗つた後の生地の色までも白く美しくなるクラブ白粉と床しき淑女の薄化粧が手輕く出來るクラブ水白粉とを愛用すれば容色常に麗はしくなります。是等は夏期の皮膚衛生上一日も缺くべからざる品々でございます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



夕顏棚の下凉み

廣田花崖

□ジエロームの警句

「人は爲すべき仕事を澤山持つてるのでなければ、全然閑散を樂しむと云ふことは不可能である。何も爲すべき仕事の無い時に何も爲ずに居ると云ふのは面白いことぢやない斯うなると時を徒費するのも單なる一の仕事である。最も厄介な仕事である。閑散は接吻と同じく竊そりでなくては樂しくない。」

頃日ジエロームの書いたものを讀んで上記のやうな句に出逢ひ成程と大に感心させられた。流るゝ汗を拭き〳〵一服する烟草の味は、行動者其人でなければ分らない。時と金とを多分に有する者に不平家が多いのは、時を費すことそれ自身を仕事とするからである。多忙の後に來る休息の樂しさを知らないからである。金が無くても忙しい人の顏には活氣がある。金が有つても閑散な人の顏には空虛がある。多忙は吾等に取つて確に一個の福音である。

□遊團扇と避暑地の風

凉を取ると云ふことにもそれと同樣のことを云ひ得る。實は之を云ひたかつたところだつたので彼の警句が特に心を牽いたのである。夏は暑い併し此熱暑の中に在つて何時も凉しい思がして居られるとすると凉味の有難味は著しく減せられるに相違ない。少くとも一日を汗に浸つた其夕、今日も一日最善を盡したと云ふ自覺の下に、湯上りの裸體に遊團扇を持つて得る凉味の嬉しさに比ぶべくもない。此意味で遊團扇の風は避暑地の風よりは確に幸福である。意味が深い。有名な今樣に「世の憂きことは手に持てる、團扇の風に拂はせて、夕顏棚の下凉み、見上ぐる月に隈らなし。」と云ふのがある。一誦直に淸爽を覺えしめる。熱風と紅塵との眞只中なる都會生活もさる事ながら、朝から晩まで烈日に照らされて働く農民の生活には、夕顏棚の下凉みの更に〳〵淸爽なるものがある。

□夕顏棚の下凉み

夕顏と云ふのは近頃の夜會草ではない。蔬菜書では扁蒲と書いて、其果肉から乾瓢を取る葫蘆科の蔓草で、青々と凉しく繁る葉の中に五裂した

十四

眞白な大形花を見せるのが、更に一段の凉味を添へる。二三尺に達する果實も野趣があつて面白い。此蔓草を棚へ這はせたのが、即ち夕顏棚である。此棚を緣先に作つて日避けなどにすることもある。尤もそれは大抵中流以下の農家などがすることで、從つて其下凉みは中流以下の納凉法である。

彼等は一日夏季は男女の區別なく殆んど十四五時間烈々たる日に照らされて水を浴びたやうな汗の中に働く。さうしていよ〳〵夕が來ると行水を浴びてホツと息をつく。素裸で飯を食ふ。さてそれからがいよ〳〵夕顏棚の下凉みの樂となるので、此二三時間は眞に以て値千金である。此凉味は避暑地の何人にも知られない。彼等は是處に至大の滿足を感じて居る。自覺なしに多忙の福音を感じて居る。

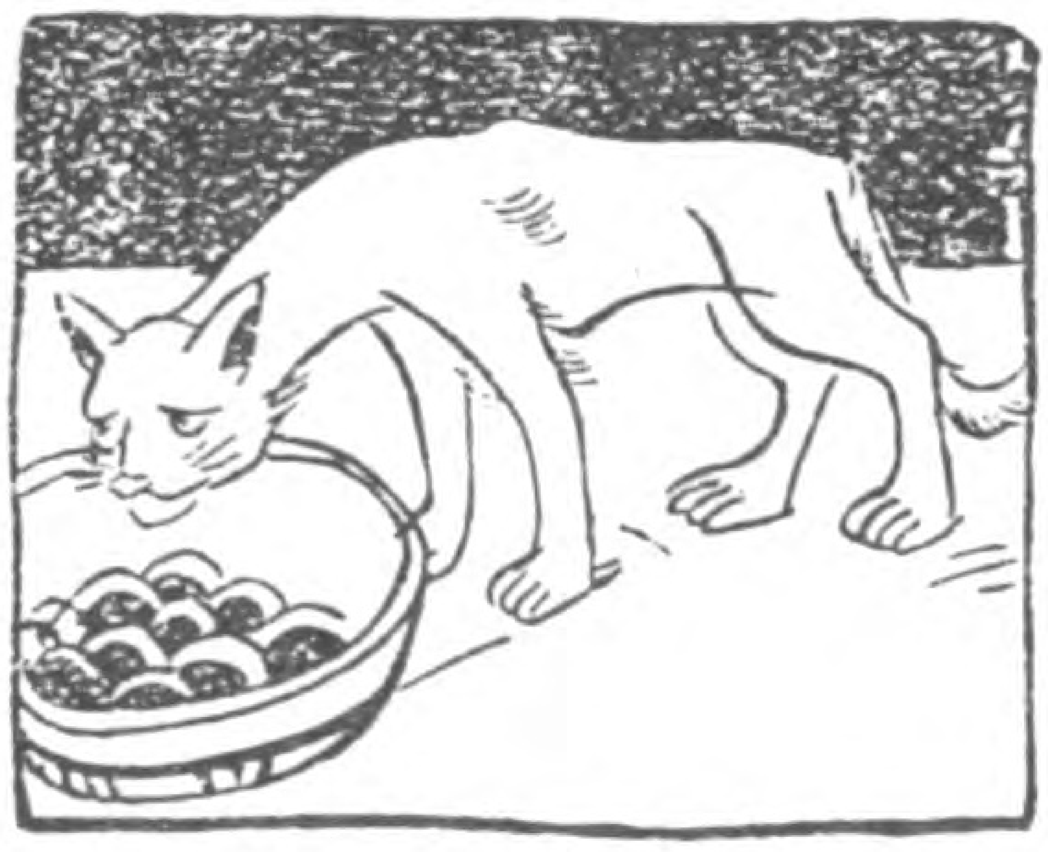
Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

猫と鼠（中）

たか子

さて鼠をだまして家を出た猫は、教會に行つて、祭壇の下に置いてあつた瓶のところで、おいしくてたまらない樣なかほをしながら、ぴちや〳〵と油をなめ始めて、とう〳〵上の方の大方を、なめつくしてしまひました。そして、のどをごろ〳〵いはせながら、屋根をつたはつて、町中を散歩し、ゆつくり日なたぼつこをしながら、幾度も幾たびも、唇のまはりを、あの長い舌で、目を細くしながら、なめました。

夕方になつてから、家にかへりますと何にもしらない鼠は、大層親切に、ねぎらひまして、「よくおかへりなさいました。さぞまあ、今日はお樂しかつた事でせう」と、自分までが快ろよささうに申しましたが、猫はたゞ「え、」といひました限りでした。「そして、御子樣の御名はなんと御つけになりましたか」と鼠が尋ねますと、「上の方がなくなつた」と猫がいひました。鼠は、驚いてしまひました。「えつ！上の方がなくなつたんですつてまあなんて奇妙な名でせう、それでも猫の名ですかねえ」とあきれてしまひました。「それでも、あなたの御母さんが、パンごろぼうと、いはれたより、をかしくも、わるくもないではありませんか」と、猫は平氣な顔でいひました。



其の日は、それですみました、けれどもまたぢきに、猫は前になめた油の、おいしい味を思ひ出し、ゆきたくて〳〵がまんができなくなりましたので、「鼠さんあなた、も一度御留守居をして下さいませんか、私は、又名命親にたのまれましたから、これから行つてまゐります。」と嘘を云ひました。

人のよい鼠は、何の氣もなく、承知いたしましたので、猫は、早速教會にかけてゐつて、瓶の中の半分を、なめてしまひました。そして一人ほく〳〵よろこんで家に歸りますと、鼠は早速「今度の御子さんの御名は」と聞きました。すると猫は「半分なくなつた」と云ひますので鼠は、「半分なくなつたですつて！まあ、私はそんな名をまだ一ぺんも、きいた事はありませんでした。」と、鼠は不思議さうに、又をかしさうに小さな首をかしげました。

子供の智慧

□電話口での喧嘩

或日二郎が祖母さんのお家へいつて半日留守になりましたら。早速一郎から電話がかゝりました。

一郎『二郎ちやんか。』二郎『ウン。』一郎『お晝御飯はすんだの。』二郎『ウン。』一郎『何時頃歸へるの。夕方?』二郎『ウヽン、今夜は泊ろお約束をしたの、お祖母さんさ。』一郎『ぢや今夜は歸へらないんだね。』二郎『ウン。』一郎『何だ、ウン、ウン、許り言つて。』二郎『馬鹿ッ、分り切つた事を聞くんだもの。』一郎『馬鹿はむきみ屋にあらア。』と不意にモシ〳〵御話中ですか、と交換手が言つたので、二人は大まごつきで電話を切つて了ひました。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

孃ちゃん（五）

阪東みちゑ

故郷の空を遠くはなれて、ぞつちをむいても見知らぬ人ばかりの寄宿舍へはひつて、いつでも心淋しい私の、一番の慰めは、毎日のお八つでした。三時半に鳴る板木の音を待ちかねて居て食堂へ行くと、食卓の上に行儀よく並べられた三百の小皿の中に金鍔が二つか、燒芋が三切れか、鹽煎餠が四枚ほどづゝはいつて居ます。これが私たち寄宿生の疲勞した心身を慰藉する唯一の物品なのです私は金鍔が好きですから、食堂の入口まで行つて、薄い皮の下に透けて見える小豆の包を見ると、非常に嬉しくなります。

しかし食べてしまふと二つだけでは物足りなくなるので困りました。燒き芋の時は、更に不足を感じました。

水曜の午後でした。教場から疲れて歸つて來て「けふのお八つは何でせう」と一足先きに歸つて、袴を脫いで帶をしめて居た下川さんに聞いて見た。

「さうですねえ、多分お芋でせう」

「さう？、なぜそれがおわかりになるの？、」

「だつてそんな香ひがするのですもの」

「私は金鍔だと思ふわ」

「なぜ？」

「だつてそう思へるのですもの」

「それなら賭けにしませうか」

「えゝ、してもかまはないわ、しかしどんな約束にするの？」

「それはかうするといゝのよ、私はお芋でせう、あなたは金鍔でせう、それでねお芋がついて居たら私が勝ちになるのだから、あなたの分を半分いたゞくのよ、それから金鍔だつたらあなたの勝だから、私の分をあなたに半分差し上げるのよ、さういふ事にすればいゝでせう」

十六

「えゝ、まあいゝわ、だけど負けると損をするのねえ」

私は不承不承に承知した。そしてどうか金鍔であつてくれゝばよい、そして久しぶりに三つの金鍔が一度に私の手には入ればよいとそればかり考へて居た。

暫らくすると藤吉がいつもの通りお八つの板木を打ち鳴らしました。愈勝負の決する所ですから、私は下川さんなんか後にのこしたまゝ一目散に驅けつけました。そして食堂の入口にたつて食卓の上を一寸見ると意外にも皿の中には燒芋が三つ轉がつて居りました。私は失望しました。いよ〱敗北とわかつたからです。私が入口に立つてつまらん顏をして居ると、そろ〱と大勢の人がはひつて來て食卓につきました。私は失望しながらも心待ちに下川さんを待つて居た。大勢並んで來る人の中を物色するけれども、ちつとも待つて居る人の姿は見えませんでした。待ち遠で仕方がないから二足三足引き返して迎へに行くと、向ふから下川さんがにこ〱しながら歩いて來た。

「あなたの勝ちよ」

と云つて袖をつかまへると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「そりや私は烱眼なんですもの」
と得意の眉を動かした。殘念だけれども仕方がないから契約通りお八つの二分の一は下川さんに割讓してあげました。賭なぞうつかりするものでないと思ひました。ふだんでも不平なのにその日は燒芋か一片半のお八つだから、私は大變に手持ち不沙汰であつた。何となく淋しい心地になつてふいと國の事が思ひ出された。あの裏の畠に一面にひろがつて素襖色の葉をつけて居る薩摩芋のつるを、うんと引ばると、サク／＼と音がして牡丹色をした大きな芋がぶら／＼と數珠つなぎになつて土の中から出て來る有樣を思ひ起しました。そしてそれを直ぐ近くにある堀池で奇麗に洗つて、ザルの中へ入れて家へ持つて歸つて、母樣にふかしてもらつて、まるのまゝ好きなだけいたゞいた味のよかつた事！　早く歸りたい！と思ひつゝけてぼんやりして居ると下川さんが氣の毒に思つたものか
「追善の爲め一つだけ喜捨します」
と云つて私の差出したのを返戻せられました。
今日はお芋の事から何だか氣がくさ／＼して面白くなくなつた。部屋へ歸るのも氣がすゝまないから、下川さんとは途中で別れて、私は二階の廊下の中程にある硝子窓から往來を眺める事にしました。

寄書

女教員の増加に就て

黒崎えつ子

□

最近帝國教員會に於て、男女教員の件につき細密な調査の結果、現在我が割合が女教員の數男教員の三分一弱であるが、二分一までの増加は差支へない云々と新紙に報道されて居りますが、若し二分の一までに、即ち半數に増加するとならば、女子の内的生活に今後一大改革を要求してやみませぬ。

當局者は米獨佛の狀況にならひ、飽くまで我女教員を同水平線上に立てゝ考へられたその好意は謝するに餘りありますが、惜しい哉これ等諸國の婦人と我が女教員とは一大懸隔を有して居ります。第一智識に於て、修養に於て、思想に於て、境遇に於て、すべて彼の國婦人より數段遲れて居ると申されねばなりませぬ。今日の有樣では社會から輕侮せらるゝのは身から出た錆で、餘儀ないことゝ申されねばなりませぬ。

□

先づ婦人の日常生活子女の教育等を見れば、今後國民教育の大部分が、婦人の手によつて養成せられる事に就て憂慮しなければならぬ點があります。今日のやうな女教師に育てられゝば、何等自覺なき一つの女教員氣質を四方に傳播せしめ、纎弱なる腰折の國民を養成することになりはしまいかと疑ひます。先づ婦人が思想を練り、精神を修養して自己の職務はパンを得るにあらずして、天職と感じ、獻身的努力によつて、恰も太陽が我々人類に絶大の恩惠を與へて、苟も何等の報酬を受けざる大慈悲の心を以て當られねばならぬと思ふのであります。

□

その婦人中適任者を既婚者未婚者何れを選ぶべきかは、議論區々でありますが、校務中心説を主張すれば、獨身者が適當といふに世論は一致して居ります。既に有數なる小學校長にして、既婚者は絶對に採用しない方針で行つて居られる所もあります。我田引水ではないが神ならぬ身、一度に二足の草鞋は穿けぬ道理で、家庭に累を及ぼして教壇上の人となる事は、絶對の禁物であると思ひます。然しながら生活難の爲、即ちパンを得る材料ならば、寧ろ金錢本意の他の職業を選ばれた方が得策でありませう。教育者は精神上の仕事であります、決して夫婦共稼の材ではないのであります。

□

また翻つて考へて見ますと、慈母となつた教師は幼兒訓育に適するといふ論があります。其の點は自分等經驗なき者故聊か憂慮してゐた矢先、今夏湘南地方旅行中、寺房の一室に若き母なる人、某の某女學校出身者にして醫者の夫人が四歲を頭に赤子をつれて避暑しておられるに遇然知己となり、朝夕起臥を共にし、四歲の男兒に直接接して、自分の日常顧慮して居た幼兒取扱について種々研究を與へてくれました。私はこの兒の食事中の作法の如きをも、短時日に母親も感心する位、良習慣をつける事が出來て、歸京の際は、その子供も非常に別れを惜んでくれました。たしかに自分は訓育方面にも多少成効したと喜んで歸つたのですが、心がけやうではこれも獨身婦人に決して困難な事ではないと實驗致しました。して見れば各方面通じて今後我が婦人が一段の進歩を遂げぬ限りは、先づ小學女教員は全力集注の出來る獨身婦人がこれに當るのが上乘の策と思はれます。そして今後愈々多事ならんとする我が國の國民教育を益々生命あるものと致したいと存じます。

十七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□大演習行幸の御日割　天皇陛下には來る十一月七日御發輦、福岡佐賀兩縣下に於て擧行の特別大演習を御統裁の答。尚佐世保軍港行幸の御日割も略御内定相成り、御召艦は榛名の由漏れ承る。

□閑院宮殿下の露都御訪問　去る一月露國皇帝は、皇叔ゲオルギー・ミハエルウイチ大公殿下を使節として聖上御即位祝賀の爲め我國に特派せられたるに就き、天皇陛下には此の御答禮の爲め、近く閑院宮殿下を使節として、露都に特派遊ばさるゝ由、隨行員長としては内山大將と定まりし由洩れ承ります。

□東久邇宮の日本アルプス御踏破　東久邇宮殿下には十四日朝日本アルプス中の盟主鎗ヶ嶽に向はせられ、大天井嶽、燕嶽に御登攀、尚ほ四ツ家より白馬嶽を越えて十九日松本市に御宿泊の御豫定なりと。

◉支那兵我守備隊を包圍す　鄭家屯に在る我が守備隊一個中隊は、十三日突然支那軍隊の包圍攻擊を受け、松尾中尉は重傷を負ひ遂に死亡し、以下下士卒の死傷夥しく、殆ど全滅の災厄に逢ひ、事態愈々重大となりました。

◉葡國亦戰爭に參加　葡萄牙議會は英國よりの勸告に應じ、歐洲の戰爭に參加すべき旨を決議しました。

◉露國出征軍總司令　クロパトキン將軍は、土耳磯斯坦總督兼出征軍總司令官に任ぜられました。

◉墨國問題協商委員任命　米國政府は九日墨國問題聯合協商委員として、内務卿レーン氏、大審院判事ブランデス氏を任命し、更に一名を選擇中です。會議はニユージャシー州の海岸に於て開かるとの事です。

◉米國に鐵道罷業起らんとす　米國に於ける二百三十の鐵道會社從業員、總數四十萬人は、勞働時間の問題より同盟罷業をなさんとし、政府當局の調停も失敗に歸しました故、大統領は最後の手段として自ら同盟罷業運動の首領に會見を申込みました。

◉天明丸擊沈さる　土佐伯洋汽船會社所有天明丸(二千三百六十噸)は十日夕刻馬耳塞に近き海上に於て、獨潜航艇の爲めに擊沈されました。同船は小寺洋行の傭船にて、油綿等を積み込み、リヴアープルに向ふ途中此の難に遭ひたるなりと。船員は無事馬耳塞に上陸致したとの事です。

◉田村少佐倫敦に於て自殺　陸軍步兵少佐田村明十郎氏は、軍事研究の爲め渡英中でしたが、過日自動車より墜落し、以來精神に異狀を呈したものらしく、八月八日自殺致しました。

◉戰爭と產業　歐洲戰亂の影響によつて各種の事業の新設擴張を見、鑛山の發展によりて製錬盛に行はれ、其他鐵工機械業船舶造船等稀有の盛況を示して居ります。

◉南洋土人の觀光　十六日御吉野丸にて橫濱に上陸したる一行四十三名は、高山海軍大尉引率の上、直ちに上京、十七日より廿四日迄東京各所を見物、廿五六日の兩日橫濱橫須賀を觀覽、廿七日再び同船にて歸途に就く筈です。

◉四個の棺　過般甲州の山嶽に慘死せる帝大生等四人の葬儀は、十三日青山齋場に行はれました。各法名には共に雲蓋の二字を冠し　友人知己數百名の人々に送られて、青山墓地に合葬せられました。

◉又も冒險旅行者の行衛不明　海軍省關落合道德(三二)氏は、甲信國境高山跋涉を企て、去月中旬出立せるまゝ行衛不明となりたる故、本月八日以後大搜索を行つて居りますが更に其の後の消息が知れません。

◉御下賜の光榮　江藤新平氏未亡人千代子(八五)に對し　皇后陛下より金三千圓御下賜相成る由十二日御沙汰がありました刀自は昭憲皇太后よりも同樣の御下賜に接し今回は二度目の事とて、同家一同恩命に感泣して居ります。

◉髮結の相談會　十三日上野精養軒に於て、東京市有志婦人美髮師競技會の審査員會が、開かれました。其の要旨はやがて開かるべき競技會當日の全市の名手を選手とし、一々振鈴に依つて結髮し、審査を受けると云ふ事でした。

◉出超一億三千萬　十一日大藏省の發表した八月上旬の對外貿易は、輸出額二千七百九十四萬千圓、輸入額千七百三十三萬七千圓、差引出超額千六十萬七千圓、一月以降の累計は一億三千〇九十二萬八千圓の出超を示して居ります。

◉虎疫患者續出す　汽船布哇丸に虎疫患者を出して以來、魚類媒介によりてか頓に同患者の數を增し、橫濱附近は非常に憂慮して居ります。尚ほ長崎市は非常に多數を出し、十三日迄に總數七十八名内三十九名は死亡したといふことです。

◉淸興修養會　橫濱指路教會の青年、婦人兩會聯合の同會は、九日より四日間本牧山田氏別邸内に、每夜七時半から開かれました。第一夜は宗教の夕として「基督教に於ける端緒」森明氏、「現代宗教の諸問題」柏井園氏、第二夜は文藝の夕として「文學を好む人に」齋藤勇氏、「ナイルの流」田中達氏、第三夜は「これからの女」小橋三四子「信仰生活の趣味」佐波亘氏の講演あり第四夜は音樂の夕として、奏樂獨唱等がありました。何れも五六十人より八十人位の會衆で、波の音を聞きつゝ、しんみりさした會合でありました。

個人消息

▲松方滿佐子(侯爵夫人)　六日侯爵と共に野州那須野の別邸へ避暑。

▲大隈綾子(侯爵夫人)　十二日侯爵と共に　兩陛下を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日光に於て同じく約一週間同地神山旅館に滯在の由。
▲鍋島榮子（侯爵夫人） 七月二十六日來家族と共に伊香保に避暑。
▲岩倉久子（公爵祖母） 七月二十八日來逗子の別莊にあり。
▲遠山愛子（子爵夫人） 七月入京目下中澁谷の生家（松崎博士）にあり。當分滯在の由。
▲加藤春治子（子爵夫人） 昨今大磯の別墅にあり。
▲徇百子（侯爵令嗣夫人） 良人と共に箱根塔の澤に避暑中。
▲石井玉子（子爵夫人） 六日子爵と共に伊香保に避暑夫人の生家樫村氏の別莊に入れり。
▲小笠原貞子（伯爵夫人） 五日上野發飯坂の溫泉に向へり。

新刊紹介

□**婦人の報德**（家庭叢書第一編） 井口丑二氏の著にして、報德教義の開祖二宮翁の小傳を卷頭に揭げ、我が國婦人に報德の必要を懇切に說けるものにして、小篇乍ら、材を東西に藉りて、興味深く說かれたり。家庭の書架に備ふるに好適のものなるべし。（定價三十錢發行所東京麴町區內幸町一四中央報德會）

□**貞烈美談**（同第二編） 早川貞水の口演にして、武士的精神に養はれたる婦人が、家庭に入りて、放蕩無賴の夫を改心せしめたる烈婦貞子を卷頭に、節婦おいしの傳を揭げたり。近時の動搖せる婦人の思想中に確乎たる精神を抱ける昔時の婦人が、寒梅の如く秋霜の如き意力は、確かに一掬の淸凉劑たるべきを疑はず（定價三十錢發行所同前）

□**婦人の修養**（同第三編） 前田宇治郎氏の述にして、我が家族主義の國家として、この一大家族の發展を圖らんとせば、其の源泉なる家庭を圓滿にせざるべからず、家庭の女王は婦人にして、其の責任は最も貴重なりとし、著者多年の經驗より感得し、或は見聞したる事を、手記して、公務の餘暇整頓して上梓したるが本書なり。實例多きこの書は、讀む者を興味の中に感化すること尠なからざるべし（定價三十錢發行所同前）

□**子供の育て方**（同第四編） 醫學士竹內薰六氏著にして、我が國に於て五歲以下の兒童の死亡數年を追うて增加するを憂へ、多年の硏究に基き、實驗に照らして、極めて平明に育兒法の要訣を說かれたるものであります。卷末に育兒問答を附し、多くの親より受けたる質問をいろは順に、懇切の回答を附して並らべられたるは、多大の參考となります（定價五十錢發行所同前）

◉**露軍慰問袋募集** 我が新同盟國なる露國は歐州聯合軍の中堅となつて、獨墺土の三大强國の敵を正面に立て、奮戰して居ります我が日本國民は熱誠なる後援の精神を籠めたる慰問袋を送つて彼れ等を慰問奬勵しやうとて神田區駿河臺東紅梅町ニコライ敎會は八月中左の規定の下に慰問袋を募集して居ります。我が婦人週報社でも取次ぎますからどうぞ讀者の皆樣方の御寄附を願ひます。

△**慰問袋** は新しい手拭を四折にたゝみて袋に縫ふ事。（他の布にても宜し）

△**慰問袋** に各自の姓名を紙に書いて入るゝ事（事務所にて露文に譯す） 商品の廣告を入るゝも支障無し。

△**慰問袋** には左の品物の中より、各人の便宜に依りて選びたる品物を入るゝ事。
「タオル」石鹼、煙草、「ハンケチ」、鉛筆、「ノートブック」、西洋紙、西洋狀袋、靴、卷綳帶、「ガーゼ」、木綿糸、木綿針、安全ピン。

△**慰問袋** に御斷りの品物＝瀨戶物、ガラス壜、菓子類（團體若くは個人にて多量の菓子類御寄附は特に御相談の事）。

編輯室より

▲編者は橫濱の講演を終へ、翌土曜の朝都を發つて、駿州御殿場の廣岡淺子氏の避暑屋に入り、忙中の小閑を貪りました。乙女峠に登つて、淸凉の氣を恣にしつゝ、日頃の疲れを一掃致しました。▲月曜夕歸つた私は旅裝も解きあへず、この號の編輯にとりかゝりました。▲日本アルプスに登山したお話をこの號にお寄せ下すつた大橋繁子樣は、本誌初號からの愛讀者でいらつしやいます。この稀らしい御經驗をお頒ち下すつた御好意を感謝致します。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依賴者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、四） 金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付） 金廿五圓
△貳等（色紙の表側） 金廿貳圓
△參等（色紙の內側） 金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　東京支店　福音印刷合資會社
發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東洋内科醫院

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町六二番　東洋内科醫院
院長　醫學博士　高田畊安

南湖院

電話ちがさき二番　南湖院
神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同樣になります
和洋服外套インバネス東コート
ネル・セル・ショール
半襟毛皮等のクリーニング迅速に致します
染色を丁寧親切します
○局部シミヌキ
○御一報次第參上
各國大公使館
帝國ホテル御用
日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留塲際　電話新橋三一〇八

◎產婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　吉岡彌生
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
東京至誠病院
電話番町三三五七

歯科

日本橋區高砂町六
（久松町停留塲より西一丁）
ドクトル　富田貞一
電話浪花五四〇五

かつけ特効藥

手足のシビレむくみを去り
心臟を強め衝心を防ぐ
新藥　ブラニン
一瓶【八日强】金六十錢　送料不要
發賣元　目白藥局
東京市小石川高田老松町
振替東京三一六九二

產科、婦人科、小兒科

女醫　井出茂代
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

内科 小兒科　第一家庭病院

院長　醫學士　加用信憲
（入院隨時）
牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇一）

英語生徒募集

高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す。家庭的寄宿舍の設けあり。ピアノ個人教授の需めに應ず
本郷區彌生町三番地
英語專門私立　櫻井女塾
電話下谷六八一五番

技藝夏期講習會

八月中都下一流の專門大家を講師として左記九科目の短期夏期講習會を開催す。個人教授の方法なれば入會何時にても差支へなし。
●袋物●刺繡●行體摘書●摘細工●壜細工●縫細工●儀式用折紙●水引の結方
會費は各科共普通科壹圓、高等科壹圓五拾錢
東京麹町九段靖國神社右横
大妻技藝傳習所

幼いお子さんの教育に注意される家庭には必ず子供之友があります

子供之友

九月號が出來ました

△子供之友 一冊 金十二錢
半年分郵税共 金七十二錢

△新少女 一冊 金十二錢
半年分郵税共 金七十二錢

新少女

健全第一を標榜し親切な周到な用意の下に編輯されてゐる少女雑誌

發行所 東京雑司ヶ谷 振替東京壹壹六〇〇 婦人之友社 賣捌 全國各地書店

鳩印安全下着

最も簡便な婦人用下穿き

久しく横濱で洋服の下着を専問に作つて居られた高木鉀子女史が今回日本婦人の下穿きに最も適當なるものを考案されました其の特徴は衣裳をくづさずに簡便に穿め外しが出來るもので旅行用には勿論平素用ひて居れば着物が裾にまつはる事もなく大層心地よいものです各地の母の會婦人會寄宿舍等の需めに應じ旅費の外五圓の出張費でお教へ申しますなほ左の定價で御申越次第見本をお分ち申します。

型紙	一組	金五十錢
子供用カンビネーション	（小）	三十五錢
同	（中）	四十三錢
同	（大）	五十錢
婦人用間着		四十八錢
同	（中）	五十五錢
同	（大）	六十錢

婦人週報社代理部取次 振替三一六六〇

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

御料 御園白粉

御園白粉及御園化粧品は御料に召させ給ふ本邦唯一完全高貴御化粧料にして専ら實質本位の製法に苦心を重ね取分け皮膚の衛生に留意し容器及體裁を飾らず一切の冗費を白粉其物に集中し弘く化粧界に貢獻せん事を期せり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全此上なく永久の保存と陽氣の變遷に堪へ効能の變る事無く濃淡自在乗りよく伸びよく斑點なく附き肌を透して自然の生彩を現はす事化粧界の記錄を破りたる模範品なり。

ねり製 御園白粉
水白粉 御園の月
粉おしろい 御園の花
きうち白粉 御園なでしこ
濃厚化粧水 御園四季の花
高等化粧水 御園の露
濃化粧白粉下 御園の蕾
洋式化粧下 御園クレーム
高等洗香水 御園香精
化粧香水 御園の橘
高等洗水油 御園香油
高等はみがき 御園歯磨

製造本舗 伊東胡蝶園　發賣元 丸見屋商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA